

みずほフィナンシャルグループの環境問題への取り組み

みずほフィナンシャルグループの環境問題への取り組み

取り組みの基本方針

当グループは、経済発展と環境保全の両立を図っていく社会的責任があると認識し、自主的・積極的に行動します。具体的には、以下のような取り組みを行います。

- ・環境関連法令を遵守し、ごみの分別回収や再生素材の使用等の省資源・省エネルギーに取り組みます。
- ・環境保護団体やお客さまの環境問題への取り組みを支援するとともに、環境保全に貢献する金融商品やサービスを提供します。

環境問題委員会の設置

みずほホールディングスは上記の基本方針に基づき、社内に環境問題委員会を設置しました。同委員会は、当グループの環境問題に関する方針の協議、取り組みの推進、啓蒙活動を担います。当面は、当グループにおける環境マネジメントシステムの構築が課題です。



富士銀行は「全国小中学校児童・生徒環境絵画コンクール」に協賛しています。

環境関連の金融商品・サービス開発・事業化支援等

当グループでは、お取引先・お客さまの環境問題への取り組みに寄与する、「環境貢献型金融商品・サービス」の開発・提供に取り組んでいます。

金融商品としては、第一勧業銀行が「世界自然保護基金日本委員会(WWF Japan)」に寄付ができる「ハートの自然環境保護口座」、生ごみ処理機等の環境保全機器の購入者に対する個人ローン「環境設計」を提供しています。

また、3行およびグループ会社のみずほ証券・第一勧銀総合研究所・富士総合研究所・興銀第一フィナンシャルテクノロジーにおいて、CO₂排出権等京都メカニズムに関してお取引先が直面するリスクおよびその管理手法についての調査・アドバイス、異常気候によって被る事業損失をカバーする天候デリバティブの販売・活用アドバイス、LCA実施支援、および環境ビジネス関連ベンチャー企業の事業化支援等、多様なアドバイザリーサービスを実施しています。

金融業務における環境リスク評価

M&A業務において、買収先企業の環境リスクを評価に折り込む事例や、プロジェクトファイナンス等用途が明確な場合の与信において、その資金用途が及ぼす環境への影響を評価して与信判断や契約内容に反映させる事例等、企業や事業の持つ環境リスクを当グループが評価する事例が増加しています。当グループは、こうした環境リスクを金融業務に反映させる手法について検討を進めています。

▶LCA (Life Cycle Assessment)

原材料の生産から廃棄にいたる製品のライフサイクル全体を通して、製品が環境に与える負荷の大きさを定量的に評価する取り組み。